

| 会長 | 副会長 | 幹事長 | 局長 | 次長 | 主 幹 | 係長 | 主係 |
|----|-----|-----|----|----|-----|----|----|
| | | | | | | | |

第2回神崎町・大河内町合併協議会 新町建設計画小委員会会議録

開会日時 平成16年4月16日（金） 午後7時

場 所 神崎町ケーブルネットワーク局舎
会議室

神崎町・大河内町合併協議会

神崎町・大河内町合併協議会小委員会委員名簿

第2小委員会（新町建設計画小委員会）

協議会委員関係分

| | 氏 名 | 区 分 | 分 科 会 | 備 考 | 出 欠 |
|----|---------|-------|-------|------|-----|
| 1 | 奥 野 恒 夫 | 第2号委員 | 総務文教 | 神崎町 | 出 |
| 2 | 高 内 直 喜 | " | 産業建設 | 大河内町 | 出 |
| 3 | 井 上 秀 男 | 第3号委員 | 民生福祉 | 神崎町 | 欠 |
| 4 | 岩 本 精 介 | " | " | 大河内町 | 出 |
| 5 | 尾 上 徳 美 | " | " | 神崎町 | 出 |
| 6 | 上 垣 博 | " | 産業建設 | 大河内町 | 出 |
| 7 | 高 橋 勝 洋 | " | 総務文教 | 神崎町 | 出 |
| 8 | 立 岩 三代子 | " | 産業建設 | 大河内町 | 出 |
| 9 | 日 和 貞 憲 | " | 民生福祉 | 大河内町 | 出 |
| 10 | 中 山 祐美子 | " | 総務文教 | 神崎町 | 出 |
| 11 | 廣 納 正 | " | 産業建設 | 神崎町 | 出 |
| 12 | 藤 原 博 一 | " | 総務文教 | 大河内町 | 出 |
| 13 | 藤 原 鉄 也 | " | " | 神崎町 | 欠 |
| 14 | 藤 原 安 晴 | " | 民生福祉 | 大河内町 | 出 |
| 15 | 堀 口 勝 久 | " | 産業建設 | 神崎町 | 出 |
| 16 | 松 山 陽 子 | " | 民生福祉 | 大河内町 | 出 |

町長指名委員関係分

| | 氏 名 | 分 科 会 | 備 考 | 出 欠 |
|----|---------|-------|------|-----|
| 1 | 児 島 英 雄 | 総務文教 | 大河内町 | 出 |
| 2 | 大 仲 正 記 | " | " | 出 |
| 3 | 大 谷 郁 雄 | 産業建設 | " | 欠 |
| 4 | 小 寺 敏 樹 | " | " | 出 |
| 5 | 山 下 和 彦 | 総務文教 | " | 出 |
| 6 | 大 中 康 寛 | " | " | 出 |
| 7 | 井 上 隆 弘 | 産業建設 | 神崎町 | 出 |
| 8 | 西 畑 強 | " | " | 出 |
| 9 | 奥 野 恵 作 | " | " | 出 |
| 10 | 坂 田 篤 彦 | 民生福祉 | " | 出 |
| 11 | 難 波 義 博 | " | " | 出 |
| 12 | 藤 原 日 順 | 総務文教 | " | 出 |

会 議 録

| | | |
|-------|--|--------------------------------|
| 会議の名称 | 神崎町・大河内町合併協議会新町建設計画小委員会 | |
| 開催日時 | 平成16年 4月16日(金) 開会 19時00分 閉会 20時23分 | |
| 開催場所 | 神崎町ケーブルネットワーク局舎 会議室 | |
| 議長氏名 | 井上秀男 | |
| 出席者氏名 | 別紙「出席者名簿」のとおり | |
| 欠席者氏名 | 別紙「欠席者名簿」のとおり | |
| 会議事項 | <p>1 議題</p> <p>(1) 新町建設計画・両町の現状について</p> <p>(2) 次回分科会ワークショップについて</p> <p>(3) その他について</p> | <p>2 会議結果</p> <p>確認 了承</p> |
| 会議の経過 | 別添のとおり | |
| 会議資料 | 別添資料あり | |

会 議 経 過

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|---|
| 内藤（事務局長） | <p>皆さん、こんばんは。</p> <p>お知らせしておりました時間になりました。今回は、第2回の新町建設計画の小委員会でございます。皆様方には何かとご予定があったかと思いますが、繰り合わせの中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の小委員会につきまして、井上委員長が欠席されております。したがって、日和副委員長さんに進めていただくことといたしております。</p> <p>なお、藤原鉄也委員さん、大谷郁雄委員さんからは欠席の連絡がございましたので、ご報告申し上げます。</p> <p>それでは、早速でございますが、日和副委員長からごあいさつをいただきます。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>失礼いたします。私、当委員会の副委員長に指名をされました大河内の日和と申します。</p> <p>新町建設検討委員会の策定方針に基づきまして、当委員会が運営されますよう委員長を補佐してまいりたいと、そういうふうに思っておりますのでございます。がしかし、不慣れでございますが、何かと不行き届きな点多々あるかと思いますが、どうか委員の皆様方のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p> |
| 内藤（事務局長） | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、日和副委員長に本日の議長をお願いしまして進めてまいりますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>なお、今回の会議に、この新町建設計画のコンサルをお願いしておりますパシフィックコンサルタンツ株式会社にもお二人ご出席いただいております。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>それでは、委員長さんがご欠席ということでございますので、私の方で代理として進めさせていただきます。</p> <p>まず、この小委員会規約第5条第2項によりまして、委員の方々の3分の2以上のご出席をいただいておりますので、当委員会が成立することを宣言いたします。</p> <p>それでは、早速でございますが、新町建設計画の両町の現状につきまして事務局の説明をお願いいたします。</p> |
| 吉岡（事務局） | <p>どうも失礼をします。事務局の吉岡でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず最初に、資料の確認ということでお願いしたいと思います。資</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| | <p>料1につきましては、第2小委員会の名簿を整理したものでございます。資料2につきましては、本日これから説明させていただきます新町の現状を記載したものでございます。資料3につきましては、次回小委員会、分科会となりますが、予定をしておりますワークショップの事前検討ということでございます。それと、石部町と甲西町の新市建設計画というのをつけてございます。これは滋賀県の琵琶湖の南の方にございます町で、石部町、人口1万2,000人、甲西町、人口4万3,000人、規模が少し大きいんですが、その2町の合併協の新市建設計画でございます。最終的にこの小委員会でこういったものを作るという、見本という意味で付けさせていただいております。ここにお見えのパシフィックコンサルタントがコンサル会社として入っておられます。</p> <p>それでは、めくっていただいて、資料1なんですが、この小委員会は全員で28名でございます。内訳は、合併協議会の2号委員さん、3号委員さんが16名、そして町長指名委員が12名、都合28名という表でございます。</p> <p>次めくっていただいて、これは分科会の内訳ということで、当小委員会はほかの地区の合併協と少し趣が違いまして3分科会でやっているということで、構成となっているということです。及び下側に専門部会、簡単に平たく言えば役場のことなんですが、役場の方でも新町建設計画部会というのを持っておりまして、小委員会の方にも参加をしていくということで、次回考えております分科会にも入っていくという形になります。</p> <p>次に、資料2に入っていきます。神崎町・大河内町新町建設計画小委員会協議資料、平成16年4月ということで、目次を見ていただきますと、序としまして、計画策定の方針、1ページからずっと6番、財政計画までありまして、本日は1の新町の現状について、これについてのご説明をさせていただくということになります。2番の合併の必要性から6財政計画については、今後、まちづくりの課題についてのワークショップを次回やらしてもらいますが、その中身とか、あと行政の専門部会にお願いをしております主要事業調書の中身、そして両町に現在あります長期総合計画及び振興計画を参考にしながらたたき台を作りまして、小委員会での意見をお聞きし、そして完成させていくと、こういうスケジュールになっております。最終的には、前回は説明申し上げましたが、9月中に完成をさせて、10月から住民説明会に持っていきたいと、こういうスケジュールでございます。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| | <p>次めくってもらって1ページ、序、計画策定の方針なのですが、これは前回了承いただいておりますので割愛をさせていただきます。</p> <p>次に、いよいよ新町の現状ということでございます。非常にページ数が多くございますので一部を割愛し、朗読し、提案にかえさせていただきますというふうに思います。</p> <p>その前に、図：新町の位置ということで兵庫県の地図が載っておりますが、但馬地区、八鹿、関宮、大屋、養父町、これにつきましては、今現在16年4月1日で養父市が発足を見ております。これについては、製本になるまでに直させていただきたいと思っております。どうもおわびを申し上げます。</p> <p>まず、(1)新町の概要。</p> <p>1)位置・面積。新町は、兵庫県のほぼ中央に位置し、2町が合併することで新町はハート型を形成し、その面積は202.27キロ平米で兵庫県の2.4%を占めます。また、面積の大部分を山林が占めており、可住地面積は総面積の約13%となっています。姫路市まで約40分、京阪神地域まで約1時間30分以内という良好なアクセス環境を有しています。</p> <p>3ページになります。ここで表：町村合併の変遷ということで、特に大河内町の方なのですが、大河内町は今行政順位が新野、野村、比延、寺前、鍛冶、大河という感じになってるんですが、これは野村、宮野村、高朝田村というふうになっておるんですが、これは大河内町教育委員会発行の「大河内の今と昔」という、こういう冊子がございまして、そこから引用させていただいた結果、現在の行政順と若干違っていると、こういうわけでございます。</p> <p>中身を読ませていただきますと、神崎町、大河内町ともに、昭和30年に現在の町制を施行しており、平地部における水田と町域の大半を占める山林を利用した農林業を基幹産業として発展してきました。近年では、大河内水力発電所や神崎工業団地の開発、観光施設の整備や特産品開発が進むなど、恵まれた自然環境と交通条件を生かした地域振興が進められていますということです。</p> <p>3)人口・世帯でございます。新町の人口は、平成12年現在1万3,500人(国勢調査)と近年減少傾向にあります。老年人口の占める割合は急速に増加し、平成12年で24.7%に達しており、兵庫県全体の16.9%を大きく上回っています。</p> <p>町内の就学者・就業者のうち、約半数が他市町村へ通勤・通学しています。神崎町、大河内町間の相互流動も比較的大きな割合を占めて</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| | <p>いますが、その他の通勤・通学先としては、姫路市を初め神崎郡内及び生野町が中心となっていますということで、下側に表をつけさせていただいております。</p> <p>参考として、両町の状況ということで表をつけさせてもらっております。</p> <p>4) 地勢・自然環境。新町は、関西でも第一級の高原地帯を有しており、西部に位置する峰山高原、砥峰高原、太田池周辺は、雪彦峰山県立自然公園に指定されています。また、東部の笠形山～千ヶ峰にかけては、笠形山千ヶ峰県立自然公園に指定されています。河川には、蛍やアマゴ、アユといった清流ならではの生物が生息しており、またそのような自然と触れ合える環境の整備も進められています。4つの河川は新町の南部で市川として合流することから、その周りにはまとまった平地部が広がっており、主な公共施設も多く立地しています。</p> <p>参考として、両町の主な自然資源の概要ということで、両町の特徴的な部分について上げさせていただいております。</p> <p>5) 産業の状況。 就業構造。新町の平成12年の就業構造を見ると、兵庫県全体と比較して、第2次産業の就業者比率が高くなっています。しかし、近年は第1次産業、第2次産業ともに減少傾向であるのに対し、第3次産業への就業割合が着実に増加しています。1次・2次産業の内訳は、表、下の欄の中央に記載をさせていただいております。</p> <p>農林業。農業は、平成12年現在、総農家数が1,683戸、農業産出額が7億3,500万円となっており、いずれも県全体に対するシェアは、人口シェアに比べ大きくなっています。県と比較しましたら、人口はシェア2.4パー、世帯数は0.19%、農家数1.5パー、農家の世帯数が1.3パーですね。しかしながら、農家数は近年減少傾向にあり、また専業農家は全体の1割に満たない状況にあり、耕作放棄地等も増加してきています。</p> <p>なお、農産物としては、水稻、小麦、小豆等豆類、キャベツ等の栽培が中心となっています。また、地域の特産として、ユズや茶等の栽培も近年盛んに行われています。</p> <p>林業は、外材の輸入、木材需要の低下及びそれに伴う価格の低迷等、非常に厳しい環境にあるとともに、従事者の減少と高齢化も相まって、保育し切れない量の人工林を抱えた状況となっています。</p> <p>次に行かさせていただいて、参考、両町の状況ということで表にさせてもらってます。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| | <p>次、10ページ、商工業。工業は、用地面積9.3ヘクタールを有する神崎工業団地については、現在2社に対し5.8ヘクタールの用地が分譲されており、残地についても誘致が進められています。</p> <p>商業は、平成14年現在、商店数が180店、従業員数が617人、年間販売額が93億6,700万円となっています。日常的な買い物となる店舗は、南部平野部の幹線道路沿いを中心に立地しています。しかし、多様な業種、業態の店舗を求め、購買力は福崎町や姫路等への流出が大きくなっています。</p> <p>観光。新町には、高原や清流といった豊かな自然資源に加え、地域の産業体験型交流施設や特産品等の観光資源を多数有しています。また、ほたる祭り、ぐりーんカーニバル、すすき祭り、砥峰高原の山焼きなどの特色あるイベントが開催されています。さらに、新町は高原リゾートホテルやスイス風プチホテルなど宿泊施設を有しており、滞在型観光の条件を備えています。</p> <p>観光客数は、神崎農村公園ヨーデルの森がオープンした平成13年に急増し、その後は減少傾向にあります。特に、宿泊客については、平成13年においてもほとんど増加しておらず、日帰りの観光形態が中心となっていますということで、観光施設等の位置等について図面に表させていただいております。</p> <p>次に、6)保健・医療・福祉の状況。医療施設としては、地域の中核的病院の公立神崎総合病院があり、新町のみならず、神崎郡や朝来郡など広い地域で利用されています。神崎総合病院には、すこやかセンター、ここから訂正をお願いしたいんですが、訪問看護ステーションを消やしていただいて、その上に、「(健康課、社協)、社会福祉協議会のことですね、「在宅介護支援センター」、次に等ですね、「等を含む)」にさせていただけますか。どうも濟いません。や、老人保健施設、ケアステーションかんざき、ここで点を入れていただいて、上の欄で消やしました訪問看護ステーションを入れていただきます。ケアステーションかんざき、訪問看護ステーション等が併設されており、健康福祉拠点としての役割を果たしています。また、新町には2カ所の特別養護老人ホームが設置されています。</p> <p>保育所については、新町内に2カ所あり、うち公立は1カ所となっています。在所児数は84人で、平成15年現在の在所率は93.3パーと兵庫県全体よりも低くなっています。また、きらきら館には託児室があり、子育て支援施設としての機能を有しています。ということで、下側に医療施設の状況、保育所の状況について上げさせていた</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| | <p>だいております。</p> <p>参考、両町の状況ということで、施設の概要について上げさせていただきます。</p> <p>7)生活基盤の状況。 道路交通環境。新町内の主な移動手段は自動車であり、その基盤となる道路ネットワークは新町中央部を並行して南北に走る播但連絡道路と国道312号及び主要地方道、一般県道、林道等を基軸に、町道、農道がそれらを補完し形成されています。新町の南端に位置する神崎南インターチェンジから北東端に位置する新田地区及び北西部高原地帯の手前に位置する上小田地区、川上地区まで、いずれも実走で約20キロの距離があります。</p> <p>公共交通としては、平成10年に姫路から寺前までが電化され、姫路方面への通勤・通学等の手段として重要な役割を果たしており、利用者数も比較的安定しています。</p> <p>一方、バスについては、粟賀やJR寺前駅等を起終点として路線バスの運行が行われており、子供や高齢者の交通手段となっていますが、運行本数も少なく、利用者が減少してきています。また、神崎町の市街地部では、均一料金で利用できる巡回バス「大空」が運行されており、主な公共施設間を結ぶ手段として利用されていますということで、表を3つ資料でつけさせていただきます。</p> <p>次に行かせていただいて、参考ということで、両町の現状、道路等の整備状況、コミュニティバスの運行状況について書かせていただいております。</p> <p>公営住宅等。公営住宅としては、町営・県営住宅及び分譲宅地の開発が進められてきています。公営住宅が全体で64戸、分譲宅地が全体で126区画（分譲予定も含んでおります）確保されており、いずれも入居率、分譲率は高く、町内への定住促進に寄与していますということで、内訳は下の欄の表に書いてございます。</p> <p>上下水道。水道施設については、上水道、簡易水道により給水施設はほぼ100%整備されており、また下水道施設等についても、公共下水道、コミュニティプラント、合併浄化槽等によりおおむね整備は完了しています。</p> <p>ごみ処理。ごみ処理については、中播北部クリーンセンターが平成15年3月に竣工し、ごみから固形燃料（RDF）を生成する施設と、リサイクルプラザが設置され、環境負荷の少ないごみ資源化施設として稼働をしています。ということでございます。</p> <p>参考としまして、上下水道施設の分布状況表というのをつけさせて</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-------|---|
| | <p>いただいております。</p> <p>次に8)教育・文化施設の状況でございます。新町には、幼稚園9カ所、小学校9カ所、中学校2カ所、高等学校(県立)1カ所を有しています。近年、児童・生徒数が減少してきており、1校当たりの児童・生徒数は兵庫県平均と比較して大幅に下回っており、特に小学校においては4分の1程度の児童数であることがわかります。各学校では、複式学級による授業が行われています。</p> <p>文化施設としては、寺前地区に設置されている中央公民館は充実した機能を有しています。また、子育て学習支援施設が2カ所設置されているほか、各所で会議室や研修室等を利用できる環境が確保されています。</p> <p>スポーツ施設については、グラウンド(野球場、球技場、テニスコートを含む)、体育館に加え、温水プールやゲートボール場、さらにはゴルフ場など、かなりの充実した施設内容を有していると言えます。</p> <p>ということで、幼稚園、学校の状況、そして学校、文化施設等の位置の図面をつけさせていただいております。</p> <p>9)行財政運営の状況ということでございます。全財源に占める地方税の割合はおおむね4分の1程度であり、地方交付税や地方債等の依存財源の占める割合が大きい状況にあります。人口1人当たりの地方債残高は年々増加してきています。</p> <p>また、これまで神崎郡内の各町及び夢前町等と消防、し尿・ごみ処理、火葬場、学校給食、農業共済、病院事業等において、広域行政を実施してきています。内訳につきましては、下欄の表に一覧表としてかかせていただいております。</p> <p>神崎町において導入されているケーブルテレビネットワーク(K-NET)は、自主放送のほか、住民生活に密着した多様なサービスを実施しており、対象世帯の大半が加入している状況でございます。</p> <p>ということで、次に参考としまして、両町の行財政運営の状況ということで、平成10年から平成14年度までにかけて上げさせていただいております。</p> <p>次に、既存計画にみるまちづくりの方向性ということで、2町とも平成13年3月に作成をしております、神崎町で言いますと第4次長期総合計画、大河内町で言いますと大河内町振興計画について、それぞれ概要を記載させていただいております。神崎町は、「のんびり楽しい田舎人天国 神崎」、大河内町は、「住む人が快適に暮らし、訪</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|---|
| 日和（副委員長） | <p>れる人に感動を与える町づくり」を目標として掲げ、主な施策の内容について下欄にそれぞれ上げさせていただいております。</p> <p>済いません、最後になりますけれども、まちづくりの課題ということで、検討たたき台ということで上げさせていただいております。これは資料3のところで、次回の小委員会については、分科会でワークショップをしますよという、検討していただく中身、課題について上げさせていただいております。</p> <p>まず、【資源環境と産業振興に係る課題】、自然環境の維持管理、産業の担い手確保、個々の観光地やイベントどうしの連携ということで、大きくくりで3つの課題があるわけなんです、これについては、産業建設分科会で次回ワークショップで議論をしようというわけでございます。</p> <p>下側の波線で囲んでおります【保健・健康・福祉と生活基盤に係る課題】、項目としましては、高齢者の生きがいづくり、次に若者層の流出抑制、そしてすべての人の安全・安心の確保ということで、この3点について、これは民生福祉分科会での議論にさせていただくということでございます。</p> <p>そして最後に、【教育文化と行財政運営・住民参画に係る課題】ということで3つ上げさせていただいております。地域社会での生きがいを育む生涯学習・スポーツ活動、住民の主体的なまちづくりへの参画、子供たちの教育に係る学校・家庭・地域の連携ということで、これについては総務文教分科会で、次回の分科会でワークショップで議論を深め合うということでお願いをしたいなというふうに思っております。</p> <p>ワークショップに向けたお話につきましては、議題の2番で上げさせておりますので、ここまでが1番の議題の新町建設計画・両町の現状についてということでございます。</p> <p>長いことどうもご清聴ありがとうございました。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>まちづくりの課題は別といたしまして、新町の現状が今報告されました。ご説明がありました。これに対しましてご意見、質問等ございましたらお願いします。</p> <p>なお、会議録を作成する関係もございまして、発言の際には、町名とお名前をおっしゃっていただきまして発言の方をよろしく願います。また、着席のままで発言の方は結構でございますので、よろしく願います。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|--|
| 坂田委員 | <p>それでは、どうぞ。</p> <p>いきなりで、資料も多くございますが、現状でございますし、身近な点から何かございましたら、ご質問なりご意見ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p> <p>神崎町の坂田でございます。</p> <p>6ページの地勢・自然環境の項で、上から3行目の「新町は関西でも第一級の高原地帯を有しており」、こういう表現がありますが、第一級というとらまえ方というんですか、何か根拠があるんですか、その辺のところをお聞きしたい。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>もう一点、それじゃちょっとまとめてもう一点ございませんでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> |
| 立岩委員 | <p>大河内町の立岩と申します。</p> <p>7ページの生活基盤の状況のところ、神崎町では、市街地の方で均一料金で利用できる巡回バス「大空」が運行されており、主な公共施設を結んでいますという、これは大河内町はないんですが、どのような年齢層の方が、どういうふうな施設で、どういうふうな要件で利用されるのでしょうか。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>ページ数は何ページおっしゃいました。</p> |
| 立岩委員 | <p>あ、14ページです。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>14ページね。</p> <p>じゃあ、事務局、お願いします。</p> |
| 浅田（事務局） | <p>それでは、私の方から、まず神崎町坂田様の第一級という高原地帯のご質問に対してお答えしたいと思います。</p> <p>ご存じのように、大河内町、神崎町、それぞれ県立自然公園というものを有しております、その中でも大河内町の約1,000メートル級にございます峰山、砥峰、こちらの方を関西でも第一級という位置づけ、法的な根拠、そういったものは特にございません。峰山、砥峰、太田池といった広い範囲というふうな意味から、県の方からもそういうふうな第一級の高原地帯であるというふうな定義をいただいております、法的な位置づけはございません。広いというふうな解釈をいただければというふうに思います。</p> <p>それと、立岩さんの方のご質問の、神崎町で現在運行されております「大空」、この状況ですけれども、昨日こちらの方で、地元の区長会の方でも少しご説明があったんですけれども、運行されまして、昨年対比、14年度と15年度対比というふうな中で、14年度で約九</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|------------------|--|
| 日和（副委員長） 坂田委員 | <p>千数百人、そして15年度が1万5,000人とかなり利用人員は増えております。そして、その利用の大半がいわゆる高齢者を中心とした神崎総合病院への病院の関係、それといわゆるJR新野駅、こちらの方への利用が大半を占めておると。あ、済みません、資料の方で15ページにコミュニティバスの運行状況という形態が少し載っております。しかしながら、これは神崎町内を作畑新田、また猪篠という部分の全域をカバーしていないという部分がございまして、こちらの方が一つの利用される方の大きな課題点かなという部分はございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>坂田さん、よろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>立岩委員さん、よろしいでしょうか。</p> <p>それじゃ、ほかにございませんでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> |
| 中山委員 | <p>18ページの上から3行目なんですけど、各学校では複式学級による授業が行われていますという表現はおかしいんじゃないですか。複式学級といいますと、1つの教室で2つの学年を教えるという意味だと思んですけど、これでしたら、各学校といいますと全部の学校になってしまうと思んですけど、いかがでしょうか。</p> <p>それともう一つ、私ちょうどきらきら館で働いてるんですけど、そのきらきら館のことが幾つか出てきてるんですけど、ちょっと誤字がありますので、ちょっと訂正していただきたいんです。「遊技ホール」の「技」が間違っておりまして、戯れる方で、この遊技とは別なんです。</p> <p>以上ですけど。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>それじゃ、もう一点まとめてさせていただきたいと思いますので、ございませんでしょうか。</p> <p>事務局、回答をお願いします。</p> |
| 吉岡（事務局） | <p>あ、どうも大変失礼しました。18ページのところの中山さんのご指摘なんですけど、全くそのとおりで、記載方法としましては、「各学校では」ではなくて、各を取って「学校によっては複式学級による授業が行われています」の誤りでございます。訂正しておわび申し上げます。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> |
| 日和（副委員長） | <p>現状報告につきまして、これでよろしいでしょうか。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-----------------------------|--|
| <p>日和（副委員長） 浅田（事務局）</p> | <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>事務局、どうぞ。</p> <p>本日、いきなりこういう形でお出しをさせていただきまして、なかなか、先ほど誤字とか、またこんなことが漏れておるん違うかというふうな部分も、各委員さん方また後日見ていただく中で、ご意見等ございましたら、また事務局の方までご一報いただければというふうに思います。</p> <p>現状で、ここの横におりますコンサル業者の方が、去る2月26、27と2日間、両町の現地を施設を中心に回りまして、あわせまして3月18日に配付をさせていただきました両町の総合計画、振興計画、このあたりから現状、そして課題、そういったものを分析した中での記載でございますので、十分な点がないかもわかりませんが、いわゆる新町の現状という形で提案をさせていただいております。</p> <p>以上でございます。</p> |
| <p>日和（副委員長）</p> | <p>それでは、現状につきましては以上にさせていただきまして、あとワークショップの関係でございますが、今後の本委員会の進め方についてということで、今回は分科会でのワークショップが予定されております。</p> <p>そのワークショップにつきまして、事務局の説明をお願いいたします。</p> |
| <p>吉岡（事務局）</p> | <p>失礼をします。資料3についてということになります。</p> <p>資料3、新町建設計画検討小委員会（ワークショップの開催）に向けた事前検討についてということで、お手元に用紙を、黄色、水色、赤色のメモ帳のようなものをダブルクリップでとめてお渡しをしております。これは、実は今日、今から説明させていただくんですが、お帰りになられまして、この後ご相談させていただきますが、次回小委員会、分科会ワークショップさせていただきますので、その日まで、お帰りになって次開催されるまでの間に、あれやこれやお考えになっていただいて、書いてきていただきたいということでお渡しをしております。10枚ずつあるんですけども、いっぱいあるのは、なるべく多くのご意見をいただきたいという思いでいっぱいあります。必ず10件ずつ書いてくれとか、そういうことではございませんので、誤解のないようお願いをしたいというふうに思います。</p> <p>それでは、資料一部割愛しながら朗読で提案をさせていただきたいと思っております。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-------|--|
| | <p>新町におけるまちづくりの課題について、3つの分科会に分かれ、ワークショップ形式により検討していただきたいと考えております。</p> <p>ワークショップとは、参加される方全員のご意見を効率的・効果的に集約するための手法で、次のページ以降に具体的な進め方を示しております。ご一読いただきましたら、ある程度話し合いの進め方をイメージしていただけたと思います。これは全員がくまなく意見を出し合って協議ができるようにと思って計画をさせていただきました。</p> <p>以下の 、 、 の3つの項目についての皆様のお考えを事前に検討していただき、持って帰って書いていただくというのでございますが、事前に検討していただき、黄色、水色、赤色の用紙にご記入をしていただいて、次回分科会ワークショップの際にご持参をお願いしたいと考えておりますので、ご協力のほどひとつよろしく願いいたします。</p> <p>用紙なんですけども、まず は黄色でございまして、各地域における具体的な状況ということでございます。2番目に、現状のような課題を有している要因について、水色の用紙に記入をしていただく。3つ目、課題を改善していくために必要と考えられる取り組みということで、赤色の用紙に記入をしていただくということで、課題等については、少し前にも述べさせていただきました中身でございますので、こちらの大きくくりな投げかけにはなっておりますが、それを見ていただいて、是非書いてきてほしいというふうに思います。</p> <p>記入に際しての注意点ですが、下側に書いてあります。 を黄色の用紙、 の問題について水色の用紙に、3番目のことについて赤色の用紙にそれぞれ1つずつ内容を書いていただくと、1つの用紙に2つ以上の内容を書かないようお願いをいたします。用紙は黄色、水色、赤色それぞれ複数枚、10枚用意しておりますが、何枚お書きいただいても結構ですということでございます。</p> <p>大きなA3の紙を折らせていただいて、ワークショップの進め方ということで上げさせていただいております。少し印刷が黒っぽくてわかりにくいんですけども、こういうステップ1、ステップ2、ステップ3というような形でしていきたいと。皆さんが用紙に書いてくださった分を模造紙に張りつけると、ステップ1ですね。</p> <p>ステップ2では、同じような内容、意見があれば一まとめにすると、その場で気づいたことがあれば追加をしていくということです。</p> <p>ステップ3として、結果の取りまとめということで、課題の柱ごとに議論した話し合いの結果をまとめるという形で、これを分科会ごと</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|--|
| 日和（副委員長） | <p>にしますんで、次回場所は大河内町の順番になりますから、保健福祉センターで行いたいと思います。あそこは2階の部分が3つ部屋がございますんで、うまいこと3つの分科会に分かれていただくことができるというふうに思ってます。</p> <p>あと、3ページ、4ページ、5ページにA3の長いものがございますが、それがそれぞれ分科会A、分科会B、分科会Cということで1枚ずつ上げてますが、この白色のスペースのところに皆さんが帰って書いてこられたのを張りつくと。当日は、大きな模造紙を用意をして、要はこれをむちゃくちゃ大きく拡大コピーなりをして、畳の上とか机の上に模造紙を置いて張りつけていくという、そういうイメージでございます。それで、みんなでわいわいと議論できたらなというふうに思ってます。</p> <p>以上でございます。ありがとうございました。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ただいま事務局からご説明がございましたが、分科会ごとにワークショップを取り入れた課題の掘り起こし等、今後の進め方について今ご説明あったわけですが、ご質問なりご意見ございましたらどうぞ。</p> |
| 藤原（日）委員 | <p>はい。</p> <p>神崎町の藤原と申します。</p> <p>今ワークショップについてご説明をいただきましたけれども、昔で言うKJ法に相当するものではないかと、川喜田二郎さんのKJ法だと思うんですけども、全部集めてグループごとにまとめていくということなんですけども、このまとめていくのはやっぱり小委員長さんがご担当されて、かつ結果の取りまとめ及び発表についても小委員長さんが担当されることになるのでしょうか。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>はい、事務局、どうぞ。</p> |
| 浅田（事務局） | <p>先ほどご質問いただきました……。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>分科会の会長さんかなという。</p> |
| 浅田（事務局） | <p>はい、お見込みのとおりでございます。3つの分科会の会長に中心になっていただきながらその辺はまとめていただき、小委員会の方でご報告いただくという形にしてみたいというふうに考えております。</p> <p>それから、言われた手法につきましては、ワークショップ、川喜田さんのKJ法という手法でございます。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>はい、ほかにございませんでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|--|--|
| <p>奥野（恵）委員</p> <p>日和（副委員長）</p> <p>畠中（コンサル）</p> | <p>奥野でございます。</p> <p>この紙を作ってこなあかんということで、ちょっと自分自身どういうふうによったらいいんだらうかという、ちょっと説明はわかりにくかったんですが、例えば3ページの具体的な状況というのは、いわゆる現出している課題、問題点ということを書けばいいんじゃないかなというふうに思うんですけども。の方は、現状のような課題を有してる要因というのは原因だらうと思うんで、それでいいのかどうかということちょっとお尋ねしたいということでございます。</p> <p>じゃ、事務局。</p> <p>済いません、私パシフィックコンサルタンツの畠中と申します。どうぞよろしく願いいたします。ワークショップということで、事務局さんの方でもなかなかこれまではされたことがないような手法という部分もありまして、ちょっと今回我々の方から提案させていただきまして、一緒にちょっとわいわいがやがややってみようかということでご提案させていただいたんですが、おっしゃるように、まず説明の部分としましては、3ページの方が分科会Aと書いておりますが、この分科会が産業建設分科会に該当されてる方は、この3ページの内容についてのみお考えいただきたいというふうに考えております。</p> <p>それから、4ページの方で、ちょっと資料の方は分科会Bというふうになっておりますが、こちらの方が、民生福祉の分科会に該当されてる方はこの4ページの内容についてのみお考えいただきたいと、それをテーマに次回したいと考えておると。</p> <p>それから、分科会Cと今書いてる5ページですが、こちらの方が総務文教の分科会に該当されてる方にお考えいただきたいテーマをお示ししてということでございます。</p> <p>今ご質問の内容ですが、1番というのは、おっしゃりますように、皆さんの身近な地域で現出している問題点ということで、それぞれ課題の柱、 、 というので、例えば3ページで言いますと、自然環境の維持管理ということで、例えばそこに文章で書いておりますが、非常にこちらの地域は自然豊かな地域ということが地域の魅力になっておるわけですが、しかしながら集落における人口の減少とか高齢化に伴いまして、森林等の少し維持管理が行き届かない部分、一部荒廃が見られる部分とか、そういう部分が出てきておりまして、この地域の魅力である自然をいかに守っていくかという部分が非常に大きな課題としてあろうかと思えます。</p> <p>したがって、 としましては、確かに自分の身の回りにそ</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|--|---|
| <p>日和（副委員長）</p> <p>奥野（恵）委員</p> <p>日和（副委員長）</p> <p>大仲委員</p> <p>日和（副委員長）</p> <p>内藤（事務局長）</p> | <p>う実情が見られると、現出してる問題点について幾つかお気づきの点を書いていただきたいというのが。</p> <p>それから、につきましては、ではなぜそういうような問題のある状況になってしまっているのかという部分について、その要因の部分についてお考えいただきたいということです。</p> <p>最後、3番目としましては、その と の状況を踏まえて、自分たちでできることはどういうことだろうか、さらには行政が行うべきことはどういうことだろうかというような視点に立ちまして、 のような現出してる問題点をより改善していくために必要と考える取り組みについて、幾つかアイデアをいただければなというふうな視点でお考えいただきたいと。</p> <p>したがいまして、 について黄色の用紙に、 について水色の用紙に、 について赤色の用紙に書いてきていただくと、各分科会とも課題の柱、課題の視点というものを3つご用意しておりますので、そこに書いております現状認識の文章も多少お読みいただきまして、ああ、こういうことであれば、 についてこうだな、 についてこうだな、 についてこうだなというのをそれぞれ3色の用紙にお書きいただいて、当日それを持ち寄ってお話し合いを進めていただければなというふうに考えております。</p> <p>以上です。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>どうも濟いませぬ。わかりました。</p> <p>ほかにございませぬでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p> <p>大河内町、大仲といたします。</p> <p>僕自身は分科会Cなんですけども、当然これから両町が合併した場合出てくる問題として、今僻地校というのが神崎郡に6校あるんですね。その6校のうち、神崎と大河内町が全部その6校入ってるということで、当然統廃合のことも入ってくると思うんですけども、そういうふうなことを次のワークショップで話し合えるもんか、テーマとして出せるもんか、そういうふうなことはやっていいことなんでしょうか。それとも、もっと先送りにしてすべき問題なんでしょうか。</p> <p>提案の、よろしいか。では、お願いします。</p> <p>それでは、事務局の方からお答えしたいと思います。</p> <p>今ご質問がございましたように、総務文教部会では、今おっしゃった学校の統廃合あるいは校区問題につきまして、さきの町長会議で両</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|---|
| 日和（副委員長） | <p>町教育長の意見も踏まえまして、真剣に考えていく必要は当然ございますが、今は合併問題と学校の統廃合あるいは校区問題につきましては、同時に考えるということではなしに、切り離して考えていこうという結論に達しております。したがって、今回のワークショップには、校区問題あるいは学校の統廃合問題につきましては、問題扱いたくないということをお願いしたいと思います。当然新町になりますれば、その振興方針等々でこういう計画は上がってこようかと思いません。</p> <p>以上でございます。</p> <p>よろしゅうございますか。</p> <p>提起をされても、それが議題に上るのかどうかというのが、ちょっとこれ今問題かと思うんですが。</p> <p>ちょっと私意見を申し上げたいと思うんですが、例えばコンサルさんにこういう程度のものだと、あるいは何か案がありましたら、こういう程度が今回の分科会の議論になるんだというふうなことがあればお示しいただいたらなど、今のご質問と関連がございますけれども、この点いかがでしょうか。</p> |
| 畠中（コンサル） | <p>今のご質問ですが、なかなかこのワークショップでどこまで答えを出せばいいかというのは一定の原則があるということではございませんで、今回実施させていただく目的としましては、こういうワークショップ形式をとりましたのは、1つは、せっかく参加いただいておりますので、やはり全員の方々の意見を机上に上げて議論していただきたいということが一つのポイントと、もう一つは、やっぱり合併するからこそこういう問題に重点的に取り組んでいくべきではないかということをお出しいただきたいという部分がございます。やはりその中の一つの大きな問題点として地域振興という部分で、地域の活性化を合併を生かしていかにつなげていくかというその前向きな議論を是非していただきたいなというところに大きな目的がございます。</p> <p>もちろん学校の統廃合の問題とかもそれに全く関係ないわけではないんですけども、なかなか学校そのものをどうしていくかという問題につきまして、小委員会のご意見をいただくことは非常に有意義なことであろうかと思っておりますけれども、その場で一定の方向性を見出していくということ自体が少しテーマとして難しい部分もあろうかという思いがありまして、今回の目的としましては、できる限り地域の活力とか活性化とか、そういうことを目的に、今ある問題、課題をみんな、行政と住民の方々と力を合わせてどういう方向で取り組んでいく</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-----------------------------|--|
| <p>日和（副委員長） 大仲委員</p> | <p>べきかという流れについてご意見をいただきたいなということをやちょっとメインに考えておりますので、もちろん今日の資料の2の目次構成をごらんいただきますと、後半の方では公共施設の統合整備の話ですとか、また財政計画の話も出てきますので、その際には、今後財政面での効率化とか、そういう部分をいかに図っていくかという部分も当然協議に上がるわけでございますけれども、その段階におきましてまたそういうテーマ設定もさせていただきたいなとは考えております。</p> <p>ちょっとお答えになっているかどうかあれなんですけれども、私どものお答えとしてはそういうお答えになるのかなと思います。</p> <p>はい、大仲委員さん、よろしいですか。</p> <p>もう一点質問してもよろしいですか。コンサルタントの方のお話でしたら、何か上っ面だけなでといたら、言葉が過ぎたらごめんなさい、そういうふうな小委員会に終わってしまうんやったらそんなに意味がないと思うんですよ。僕自身が感じてる疑問とか、そういうふうなのを言わせてもろうたら、小学校を越知谷の方で新しく建てかえますね。ああいうふうなのがとりあえず、両町が合併するのがわかっていながら、もうとんでもなく荒廃した校舎で、もう何日ももたれへんからやってるんやって言われたら、その説明を受けて納得する部分もあるとは思いますが、そういうふうなことまで言っちゃいけないとか、質問できひんていうふうな雰囲気になることが果たしてええことか悪いことか、その辺だけはっきりしといてもうた方が、出してええ意見と悪い意見があるんやったら、どうなんでしょう。余り辛らつな意見ばかり出してたら場の雰囲気が悪くなると思うんですけど、ただ聞きたいことはやっぱり聞きたいもんとして、いかがですか。</p> |
| <p>日和（副委員長） 浅田（事務局）</p> | <p>議題の提案内容を含めたものだと思うんですが、この辺事務局さん、お願いします。</p> <p>大仲委員さんのお答えになるかどうかわかりませんが、基本的に今回神崎・大河内の協議会、この中で、他の協議会にない特異性、これがいわゆる両町長がご指名をさせていただきました12名の委員さん。この委員会を設置したと申しますのは、今回につきましては、両町のそれぞれ合併に対する思い、こういったものから、いわゆる住民アンケートといったものをほかのところではされておるんですけども、それに代わるものとして、両町から6名ずつの委員さんを町長のご指名で委嘱をさせていただきました。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|---|
| | <p>そして、先ほど大仲委員さんの方からご質問が出ました学校の統廃合、そういったものについての言葉を出せるのか出せないのかという問題もあるんですけれども、このワークショップにつきましては、先ほどの資料の冒頭に書いてありますように、肩の力を抜いて出せるものはすべてお話しをいただいて、それが基本的にこういう新町の建設計画に対応できるのかどうかといったことも小委員会全体の中で協議をいただき、協議会に提案していくという形になればどうかなというふうに思っております。</p> <p>そういう意味で、新町建設計画の冊子にそういったものが載らなくても、そういう委員会から出た言葉は、新しい町の総合計画になるのか、振興計画になるのかわかりませんが、新しい町のそういう計画の中に恐らく反映されてくる声の一つになるうかというふうなことも考えられますので、その辺は言うてはいけないとかということは全く考えていただかなくていいのかなというふうに私は思っております。</p> <p>以上です。</p> |
| 藤原（日）委員 | <p>学校の統廃合につきましては、非常に地域の文化の拠点という意味もありますし、あと統廃合ということになりますと、行財政的な問題、それからあと教員の配置等と非常に専門的な知識がないと判断できかねるところがあると思いますので、あくまで小委員会としては希望という程度での位置づけであって、それ以上どうするこうすることは言えないんじゃないかなというように私は思います。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>それでは、先ほどは、藤原委員さんのお考えについては、そのとおりだというふうに私も考えるんですが、提案事項につきましては、先ほどもありましたように、自由な意見を出してくださいということを確認したいと思いますが、それでよろしいでしょうか。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>はい。それじゃあ、この問題を出すためなのかな、どうなのかといった、そういう躊躇をする必要はないということでご確認をさせていただきたいというふうに考えます。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> |
| 奥野（恒）委員 | <p>神崎の奥野でございます。</p> <p>先ほど各分科会の自分の専門的な分科会のことのみというふうに聞いたんですが、この枚数とか見よったら、全部のこの3分科会全体の意見も出させてもらうわけにはいかんですか。それは、26名か28名おりますけども、自分の分科会以外に非常に活発な意見が出たり、</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|---------------------|--|
| 日和（副委員長） 浅田（事務局） | <p>プラス思考が出てくるんじゃないかなということも思いますので、その辺ちょっとお伺いしたいと思います。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>それでは、先ほど奥野委員さんからの自分の担当する分科会以外のところのいろんなお考えなり、そういったものに対するご発言または提案というご質問かと思えますけれども、この委員会を作らせていただきまして、3つにそれぞれ入っていただいて、ある程度事務局の方で両町相談をして、この委員さんならこの分科会というふうな思いで委員会の割り振りをさせていただきました。しかしながら、そういう中で、他の分科会等の専門的な知識を持っておられる方もたくさんいらっしゃると思いますので、とりあえずはこの3つの分科会のところを、入っていただいていらっしゃる委員はそこを中心にやっていただき、あと他の分科会の考えを持っておられるときは、全体会の方でひとつご提案なりご意見をちょうだいいただければなというふうに考えております。</p> <p>以上です。</p> |
| 日和（副委員長） 浅田（事務局） | <p>全体会はこの委員会のことですね。</p> <p>そうです。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>奥野委員さん、よろしいでしょうか。</p> |
| 奥野（恒）委員 | <p>はい。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>ほかにございませんでしょうか。</p> |
| 高橋委員 | <p>あ、どうぞ。</p> <p>神崎町、高橋です。</p> |
| | <p>いろいろ討議の内容を聞かせてもらっただけですけども、何か現状を固定したような、自然環境とか、あるいは環境整備とか、あるいは農林産業のどうして現状から抜け出すかというような件、いろいろあるんですけども、何か今ある現状をそのままおさらいするような中身になって陥ってしまっただけじゃないかと。これで、全体的に市街地化とか農村、そういう全領域を平面的なものに置きかえて、ここにIT専用の工場とか、思い切った企業を誘致するとか、そうしないと、ここに若者の流出抑制とか、そういうのは解決しないと思うんやね。今せっかく播但有料道路があるし、このインターをいかに生かして両町の新しいまちづくりの基盤を考えると、どうしてもそういう平面的な中に、現状を何とか脱却するためには私たちはどうしたらいいかということが大きな、これを抜けて課題として私は考えていかないかなやないかと思うんです。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|--|
| 日和（副委員長） | <p>以上です。</p> <p>現状以上突っ込んだお話にさせていただきたいという、そういう意見だと思いますが、それはもちろん当然かというふうに思います。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>ご質問、ご意見につきましては、もうほかございませんでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> |
| 日和（副委員長） | <p>それでは、説明あるいは今ご質問の中で、分科会ごとのワークショップについてのあり方につきましてはある程度おわかりいただけたんじゃないかと思いますが、日程につきましてご協議いただいて、その日を決めていただきたいということでございますが、いかがでしょうか、いきなりで恐縮ですが。</p> <p>なんでしたら、事務局の方、何かございましたら提案お願いしたいと思いますが、事務局の方で提案させていただいてよろしいでしょうか。何かご希望がありましたらお伺いしますけれども。</p> <p>じゃあ、とりあえず提案させていただきます。</p> |
| 浅田（事務局） | <p>はい、ありがとうございます。いろんなご意見をいただきながら、これを本当に私ども事務局なり、またコンサル業者という中で、ある程度想定できるものを考えながら、たたき台の案というようなものを作らせていただいております。これから分科会または小委員会の方でいろんな声を聞く中で、両町に抜けておるもの、そういったものが多々出てこようかと思えます。そういったものは十分に反映をさせてまいりたいというふうに考えておりますので、よろしく願い申し上げます。</p> <p>それでは、先ほど日和副委員長の方から次回の日程ということで、事務局案を示せということでございます。前回、3月18日に第1回の新町建設計画の委員会を開催をさせていただき、3つの分科会の中で今後の会議の日程、そういったものについても協議をしていただきました。そういった中で、やはりお仕事の関係、またいろんな都合で昼間はできない、また休みの日にしてほしい、また本日のように夜に開催をしてほしいと色々な意見が出てまいりまして、今回は第2回目ということで夜の会議にさせていただきました。</p> <p>次回なんですけれども、大変恐縮なんですけれども、3つの分科会ということも踏まえながら、5月13日なんですけれども、会場等の都合で5月13日木曜日なんですけれども、平日の午後2時から予定をさせていただきたいというふうに考えておりますので、何とぞよろ</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-----------------|--|
| 高橋委員 藤原（日）委員 | <p>しくお願い申し上げます。</p> <p>その次につきましては、今度は土、日といたしますか、休日というあたりを考えてまいりたいというふうに考えております。</p> <p>なお、今後5月以降に、大河内ではぐりーんカーニバルというイベント、また神崎町の消防操法大会、大河内の消防操法大会という形で、これから夏に向けまして逆に日曜日あたりは両町のいろんな行事が入っておりますので、その辺も十分に考慮しながら本協議会の小委員会も開催日を十分検討してまいりたいと思いますので、次回につきましては5月13日……。</p> <p>13日は、一斉に集合の講義があるんですよ。集中講義、合併の。</p> <p>それと、申しわけありません、私と井上君のほうが高校のPTAの総会がございまして、午後ちょっと出席することができない。</p> |
| 浅田（事務局） | <p>先ほど5月13日と申し上げたんですけれども、ご都合の悪い委員さんがかなりいらっしゃるということなんですけれども、それでは5月14日、次の日の金曜日はいかがでしょうか。ご案内はまたこちらの方から文書でご連絡をさせていただきたいと思います。</p> <p>そういうことで、第1回目の開催のときの皆さん方の勤務の関係とかいろんな都合をできるだけ配慮して、平日、夜、休日というパターンで今後会議を進めてまいりたいというふうに思いますので、ご協力をお願いしたいというふうに思います。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>ただいまの事務局の提案、5月14日金曜日午後2時からということでございますが、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> |
| 日和（副委員長） | <p>それでは、その日に。</p> <p>それでは、次回の建設計画の小委員会、分科会に分かれてワークショップをお願いするということになります。場所は大河内町保健福祉センターということでございます。どうか委員の皆様方、ご予約の方をよろしく願いいたします。</p> <p>そのほか、委員の皆様方あるいは事務局、何かございましたらお願いいたします。</p> <p>ございませんか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> |
| 小寺委員 | <p>大河内の小寺ですけども、ワークショップの進行については分科会長が進めるとおっしゃってたんですけども、コンサルさんの方でそれぞれ担当の分科会の方がいらっしゃると思うんですけども、できまし</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|---|
| 日和（副委員長） | <p>たらお名前なり担当者の方を教えといていただいたら助かると思いますけど。その辺はどうなんでしょうか。</p> <p>コンサルさんはこれは1社ですかね。この分については1社ですね。それで、各担当者はいらっしゃいますか。3つですが。</p> |
| 畠中（コンサル） | <p>失礼します。今現在で3名、私自身は畠中と申しまして、お伺いする予定にしておりますが、隣におる森崎と、あともう一名千田と一緒に現地を回らせていただいた人間もおりますので、ちょっとどの人間がどこに入るかということまでまだちょっと打ち合わせをしておりますので決めておりませんが、その3名を基本に、できる限り皆さん方を中心に進めていただいて、ちょっと詰まったときとかに、こういうふうを考えられたらどうですかというサポート的な形で進めさせていただくのがベターかと思っておりますので、そういう形でできればお願いしたいなというふうに考えます。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>よろしゅうございますか。いいです。</p> <p>ほかはございませんでしょうか。</p> |
| 堀口委員 | <p>済いません、神崎の堀口ですけども、先ほどの小委員会ですか、分科会の日程が14日という発表があったんですけども、この各委員会の小委員長さんがいらっしゃいますので、この小委員長さんを中心に日程とか時間帯をとりまして、できるだけ欠席のないような方法を講じていただいた方がいいんじゃないかなと、それ事務局の方で統括されるんですか、まとめられるとき、日にちが最終日はいつまでに開いてほしいという形で、一日二日ずれてもいいんじゃないかなというふうな、皆さんが出席の多い日を決定していただければどうかなと思うんですけど、どんなもんでしょうか。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>その14日の件ですか。</p> <p>ええ、14日。例えば、13日の日でも、夜であったら行けるんだとか、だから14日だったらお昼がいいのとか、またその辺のところ、小委員長さんを中心に、あ、分科会長さんですか、中心に、皆さんの出席が多い時間帯とか日を決められたら有意義にできるんじゃないかなという気もすんですけど、その辺のところはどうでしょうか。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>14日の午後2時、昼間でございますが、それじゃ再度確認させていただきますけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>分科会それぞれにやったらどうかということですか。同じ14日じゃなくてと。</p> |
| 堀口委員 | <p>はいはい。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>あ、そういう意味ですか。</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|-----------------------------|--|
| 堀口委員 日和（副委員長） 堀口委員 | <p>はい。</p> <p>ああ、失礼しました。</p> <p>だから、今日出席されとる方で、各分科会に分かれてちょっと出席できますかどうかということ調整していただければ、ほんならできるだけたくさんの方が出席できていいんじゃないかなという気がしたんでちょっと。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>わかりました。事務局としましてはよろしいですかね。事務局さんがまた大変かなと実は思うんですが。</p> <p>できるだけ委員さんに出席していただくという趣旨はよくわかるんですが、事務局さんもそれにはやはり出席していただかんといけませんし、設定がなかなか大変かなと思うんですが。</p> |
| 堀口委員 日和（副委員長） 浅田（事務局） | <p>はい、わかりました。</p> <p>何とかご協力のほどを。</p> <p>今堀口委員さんの方からご質問のございました各分科会ごとでの日にちの設定、いわゆる委員長さんを中心にというところでご意見があったというふうに感じております。先ほど申し上げましたように、今回5月13日、14日に変わったんですけれども、この分科会はとりあえず全体で集まっていたいて一つの会場でという思いをちょっと持っていましたので、それで収拾がつかず、第2回、第3回という形で分科会を今後進めてまいるときには、先ほど堀口委員さんがおっしゃったような形で、3つの分科会の委員長さんを中心に日程等を決めさせていただければなというふうに思います。できるだけ同一日で3つの分科会に分かれて効率的にできればなという思いはいたしておりますのが本望でございます。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 堀口委員 日和（副委員長） | <p>はい、わかりました。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> |
| 高内委員 | <p>大河内の高内でございます。</p> <p>このワークショップのこのやつを見ますと、大体これは2時間でするわけですね、時間としては。それで、2時間ぐらいでいろいろ意見が出たときに、十分にできるかどうかということと、やはりそういうことになると、夜7時ぐらいからやると、大変時間もどんどんと進めていきよったら遅うなるというようなことがあるんですが、その辺は事務局の方はどういうふうにお考えになっておられるのか。このくらいな2時間ぐらいで、ということになると、十分に話し合いができ</p> |

| 発 言 者 | 議 題・発言内容・決定事項 |
|----------|---|
| 浅田（事務局） | <p>るかどうかということもあるんですけど、その辺はどうですか。</p> <p>そのあたり一度5月14日に逆に私どもさせていただいて、いろんな意見なり、いろんな煮詰まったご意見等が出てなかなか收拾ができなく、時間も長時間になるといった場合には、第2回、第3回といったことも考えておりますので、その辺もあわせて日程的なものを、時間的なものも十分に検討してまいりたいというふうに考えております。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ほかございませんでしょうか。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、議題の（2）分科会のワークショップについては以上とさせていただきます、（3）その他でございますが、事務局ございますか。</p> <p>委員の方々に何かその他ということございましたらどうぞ。よろしいでしょうか。</p> |
| 日和（副委員長） | <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>はい。それじゃ、ないようですので、以上で本日の新町建設計画小委員会を閉じさせていただきます。</p> <p>次回のワークショップに向けまして準備方よろしくお願いを申し上げまして、閉会とさせていただきます。</p> <p>大変遅くまでご苦労さまでございました。お疲れさまでございました。</p> |